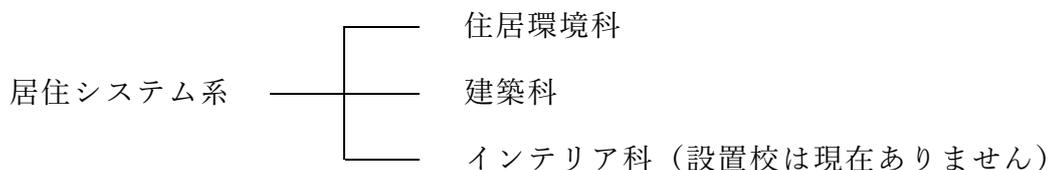


居住システム系の教育訓練目標

居住システム系の構成



居住分野に求められる人材像

技術革新の進展など経済社会の変化により、居住空間に求められるニーズやそれに伴う生産システムは多様化している。これに対応する技能・技術も高度化・多様化・専門化してきている。居住分野において、これらの変化に適切、かつ柔軟に対応する能力を有し、専門的な能力を発揮できる技能・技術を持った人材が求められる。

(1) 住居環境科の教育訓練目標

現代社会では、環境との調和をはかりつつ、社会・経済システムの変化と人間生活の多様化に応じた住空間の構築を実現することが求められている。

住居環境科は、住空間と人間、社会、自然との関わり方についての理解とともに、生活空間の創出、生産システムや自然現象に対する安全性等に関する知識及び技能・技術を習得し、住空間や生活環境の創造及び生産分野での管理・運営等に携わることのできる実践技能者の育成を教育訓練目標とする。

(2) 建築科の教育訓練目標

近年の社会環境の変化は、現代社会が要求する多様な機能を持つ建築空間を実現することを求めている。

建築科は、建築空間の基礎的分野、先端的分野及び建築生産システム全体の理解とともに、建築の専門分野である計画・構造・材料・施工・環境などを有機的に結合した知識及び技能・技術を習得し、計画・生産分野での管理・運営等に携わることのできる実践技能者の育成を教育訓練目標とする。

(3) インテリア科の教育訓練目標（設置校は現在ありません）

インテリア科は、建築生産に関する建築及びインテリアの分野の教育訓練を実施する。この教育訓練は、建築に関する専門知識及び技能・技術とインテリア空間の計画、設計及び施工・施工管理に関する専門知識及び技能・技術の修得を目標とし、以て建築生産現場におけるインテリア分野の管理・運用等に携わることのできる実践技能者の育成を教育訓練目標とする。